

①ノート公開!

4年め 天木至

これは、俺が気ままに書き続けしてきた、門外不出、禁帯出のマルヒ)ートの中から、サイクリング部部誌にふさわしいと思われているものを抜粋し、更に読者の皆様の事を考え、平易な解説を書き添えたものがある。要するに安易な態度ではある訳です。ハイ。

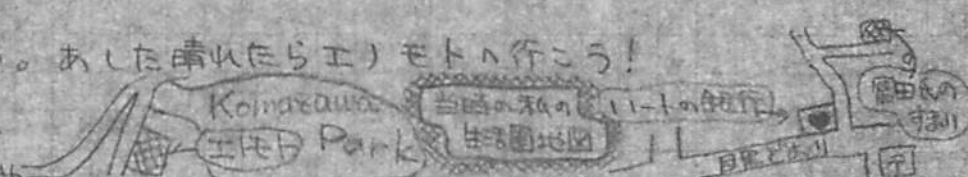
1. '77. 4月9日

しかし、このNo-3 読みにくくなってゴッソネ。
地図を書いたらとりとめがなくなつて(笑)たのね。

春合宿を終え、やや激しく降る雨の中を東京駅につく。

部室に行く。名取とは、Xの道いになった模様。更料にありさつをする。あした晴いたら工)モトへ行こう!

<解説>



当時は、東京では下宿-部室-更料-工)モト-下宿、という生活圏が確立され、常にそのどこかに居た様である。

2. '77. 8月18日

つばを1号で東京に帰って来た。(中略) 自転車乗る事自体に疲れた気もする。或いは精神的にまいつてこのまの? 軽井沢へ行

つて求めよう。

<解説>



・疲れた、というのは、秋田まで走つて帰つた時の事であり、確かに疲れ果てていた。軽井沢、というのは ESCA ラリーの事であり、古木の平尾いから俺の代わりに、あの恐怖の乗女控=金田さんが行ったはず。後に、エスカラリー組(俺は対抗して、ぶど

う狩り組へ出席した。) の、卑猥な歌や踊りを見て、正直行かなく
て良かったと思ったのである。

3. '77 10月7日

夕べ、夕方名取と明日の木賊峠は... と話してる所へ、古木、
曾我部、富田、小島がやって来て、結局朝まで話し込んでしまっ
たけど、2時頃に大家さんに注意されたりいろいろあったのだし
た。例えば、小島や曾我部はワザワザ来てくれているんだし、(それ
は誰かに勝手に押し付けて来たとも言えるけど) 二ちらの意
志が全く無視されて物事が進んで行くのは随分感じざるを得ない
けど、でも彼らと話す事が貴重というか、俺に与えられた責任み
たいな物も感じるんだ。だっこそいじやあ、あいつらに「後は寝
るから!」なんと言えりか!!? (中略)

「田舎へ帰ります。大好きな駒ども見ながら、好きな本を讀み
これからの身の振り方を、2・3日じっくり考えます。適当
に大学へ行き、適当に過ごしている時期はもう終わったと思いま
す。田舎へ帰ってじっくりと考えます。じっくり考えます。なに
しろ変わらなければ、何も変えなければ命のセンターをします
ます。」 名取

この書き置きを、どうとらえるべきなのだろう。... (後略)
<解説>

当時、我下落には 何の前ぶりもなく多くの部員達が勝手にや
って来たのはバカ騒ぎをやる日が多かったのだした。これは、そ

んな中の或る日の日記で、名取の書置きに対する解答のつもりど
あった。フリーランに行けなかった其もあきりど、俺が思うにこ
の日の名取は、我々の話し合いを尻目に階下之麻痺をちっこり
一人次みの-107を食らったジョックがあつて突如として田舎に
帰ってしまったようだ。

4. '77 10.19

サイクリングについて今もESCANNEWSを眺んで感じ入りな
がら考えざるんだけど、やっぱりロマンだと思う。たまになく
行きたくなるんだぞ。すごい魅力だと思う。しかし世の中には、
それを感じない人もいるわけだし、確かにいるはずなわけだし
よ。だとすれば、サイクリング部というのはどういった、なんて
いうがサイクリングらしき物に対してロマンを感じ、ひきつけら
れるといった人達の集まりであり、そういった連中が集まっ
てうまくいかなければそれはクラブのどろろがあかしいからど
ろろあないだろうか？ それを誰がみたら、同好会的だと笑いは笑
えどあつて、俺はやっぱりそういったロマンを求めたいと感じる
よ。そういったなんが強くひかれるイメージはやっぱり美しい物
ぞあるし、そのイメージに出さるMy bicycleというものは、や
っぱり美しくありたいと願うし、だからこそ自動車にお金をかけ
てMakeupしちめたりするんだけど、どろろあかしい？

<解説>

頂度、T.T.の頃なんだけど、自分のサイクリングに対する気

分的な高まりの中で、俺なりのサイワリング、サイワリング部
の考えをまとめてみるけど、後のクラブ規約うんぬんにも関係し
て、結論は出せない問題ほど、でも自分なりにまとめた考え
を持ってやる必要はあったのだと思う。

5. '78. 1月27日

非常に寒い一日が身も心も凍りついたのであった。しかしながら
この寒さのおかげで「を引さず」で春合宿に出るからには、若い
連中には負けられないのだ。わかったが。

しかしまるご去年と同じなのだ。いや去年以上なのだ。何故な
らば、そう石釜山は鬼なのだ。これはもはや毒まんじゅうの域を
脱しているのだ。そう、どちらかと言えば、却死に→なる青酸
コーラというか 永見だ!!

6. '78. 7月24日

今、37.3°もう普通に書きこむけど良くなってるうなと思
います。都立跡に行きました。正直言って笑っちゃったけど、ちよ
っぴり泣けてきます。いろいろ思い出を詰め込んだ場所なんど
す。あんなに完璧に移動されると本当に泣けちゃいます。まして
カッコ良く落書きがしてあって、「君は来るのが遅すぎたし」「まあ
すわいや」「僕、泣かないお」「私たちは幸せでした!」なんちもつて
とにかく、俺たちの代の人間にとってはあの都立は本当に愛す
べき場所だったんだと思います。昔、徹夜で必死に作り良く改造
したあの「都立」がもう何にもない吹き抜けと化しているのは、ちよ



と夢でも見ざる気分です。

確実に俺の時代は過ぎ去ったのだでしょうね。

7. '78 10月2日

本当に自転車で旅する事への期待感がからだじゅうに充たされて
いる感じです。僕だって何も知らない生魚だあるまいし、サイ
クルツーリング特にポストにはさまざまなき痛がある事を
知っている。というよりも最近ではサイクリングに対してまず始め
に苦しみを出してしまう事が多かったと思う。ところが今回は、
行きたい！ともう完全に思っちやうわけです。

金谷を含め多くの人々が言うのど俺も同調していたけれどよく考
えてみたらこれは反論をくらうだろうけど、地元の人との触れ合い
或いは旅行者との触れ合いを求めた旅をする、というのもおかし
な気がする。それはあくまでも偏見だ、ちっとも主体的に求める
物じゃあない気がする訳です。

やっぱり俺は景色を求めた旅に出るし、その土地で見られる物、
屋敷・山々・街・海・谷・川・・・を求めると思う。

そして、ついでに言えば自転車じゃあなくとも軽いバイクな
かと思うわけですが。たまたま車を持ってこないし、ついでに免許も
持ってない、バスじゃあ傍若無人にふるまえない。なんてことな
わけ。とんでもなくて、たまたま自転車を持ってこえ、ただ飾るくら
いなら、行きたいとどうせ思ってる所があるんだし、少々苦しく
ても連れで行きたい訳ね。確かにちやうど順序が狂ってるみたい

11日、今は現実には「自転車」が2、行きたい所があるけれど、
「から別に「自転車」を2人買ったっていいよ。僕の勝手だから
ない。Fボウシ、もう寝ろよ！」来園の今頃は、山の上だ！

8. '77. 11月5日

工大築モノツケツケと終わってしまふ。中には音を枯らした
人はいない。T.T.は、あんなに山で3万冊きってツケた
3人だ。モノツケツケの「アロ」出現した。まあ本当。6日
11日にいって、あしたからは「あんまり」とは思わなくて
なにやらもう終わって終わってと言ってる気がする。

9. '77 10月24日

昨日は全くもうTime Trialした。感動してしまふ。こ
れ味らしい天候。素晴らしい眺め。そしてまるで素晴らしい
俺の足と自転車に...

10. '78 3月24日

合宿には、明日出かける。9:45から25時向かいで行きます。
とにかくまあ十下下。無カ集団で「どうなってますから。そ
れ合宿に旅のモノツケツケを女性達さんと高気圧合宿。そ
うの昔になくってしまふ。

11. '78 8月5日

さう今頃、我が愛する心で管轄し集団は何をいこうとありま
う。何故か、北海道の西口として中を、何故か昔し外車から走

これに2年前を思い出します。あの頃は、何を見ても感動できる
悲しい人間だったのだですね。しかし今は今、その頃から見ると
2つの山ごもり合宿が俺自身に余裕を与えてくれたと思うんです。
今をってける若者達の健康を祈ります。

<解説>

2年前、北海道合宿の記録から。

「斜里までの途中の長い長い直線道路、向いはるか向こうからす
ごい勢いで吹いてくる中、向こうから来るサイクリストを見て激
しい疑問がウツウツと起るよがって来る。なんのために走ってる
のだらう？ サイクリンって何だらう？ つくづくイヤになる。」

☆☆☆☆ * * * * * ☆☆☆

という訳でこのとりとめのなり文章はこの裏で終わるのですが
俺は過去においてはウなぐとも、意地と気合いでサイクリンクを
してたという事、をんごもってどい故に行き詰まったりしたんだ
けど、ようやく最近では本当にMy paceで純粋に乗るサイクリン
クができる様になった、なんぞ訳にはながながしいがないう様で、
まだに、峠の登りは全力投球で自己の限界に挑戦する意地（これは
単にプライドとの争いかと思うけど）が優先して息もたえな
えになるだけメダルを踏んでる次第です。

最後に、我が下宿を一瞬はやたらと訪ずれた人々も最近ではめっ
きり減ったおかげで、ゆっくると心安らがに暮らしてきますが、ち
やっぴり寂しいのも事実だと認めます。

・おわり・